

# むつ市議会だより

## 第10号

- 議案説明・質疑・討論……………P 2
- 議案賛否一覧……………P 4
- 一般質問……………P 5
- 常任委員会活動報告……………P 9
- お知らせ……………P12

令和元年7月25日発行

野平ジオサイト(川内地区野平高原)

# 第240回定例会

令和元年6月6日～6月28日

むつ市議会第240回定例会が、去る6月6日から6月28日までの期間の会期で開かれました。

今定例会では10議案・12報告が上程され、審議の結果、それぞれ可決・承認・報告されました。

## 主な議案の説明・質疑

【議案第68号】むつ市地方活力向上地域に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例

地方再生法等の一部改正に伴い、地方活力向上地域等特定業務施設整備計画に従って新設又は増設された特定業務施設の用に供する固定資産の課税免除等をするためのもの

【議案第69号】むつ市介護保険条例の一部を改正する条例

介護保険法施行令等の一部改正に伴い、低所得の第1号被保険者の介護保険料について、軽減措置の強化を行なうためのもの

【議案第70号】財産の取得について

むつ市総合アリーナに設置する移動式バスケットゴールを購入するためのもの

○質疑 このバスケットゴールを購入入することによってBリーグなど

## 議案説明・質疑

主な議案の内容についての説明と、その議案に対する質疑と答弁についてご紹介します。

のレベルの高い試合の開催は可能になるのか。

▼答弁 国際バスケットボール連盟、日本バスケットボール協会の規格に適合するものであり、国体やプロスポーツにも対応したものになっている。青森ワッツの試合については、定期的な開催に向けて調整、お願いをしている。

【議案第71号】財産の取得について

むつ市役所川内庁舎配備の除雪ドーザを、老朽化に伴い更新するためのもの

【議案第72号】町の変更に

農林水産省が県に譲与及び売却をする国有林地をむつ市川内町湯野川に編入するためのもの

【議案第73号】字の変更に

農林水産省が国土交通省に所管換をする国有林地をむつ市大字大平字梨子木平ノ内中道に編入するためのもの

【議案第74号】令和元年度むつ市一般会計補正予算

(6776万8000円の増額補正)

◎歳入の主なもの

介護保険料軽減分負担金(国庫支出金)

2745万4000円

介護保険料軽減分負担金(県支出金)

1372万7000円

財政調整基金繰入金

2608万7000円

◎歳出の主なもの

介護保険特別会計繰出金

5620万2000円

スキー場施設費

1106万6000円

【議案第75号】令和元年度むつ市介護保険特別会計補正予算

(318万8000円の増額補正)

介護保険制度の改正による介護保険事務処理システムの改修等に伴うもの

【議案第76号】財産の取得について

むつ市消防団むつ消防団第18分団配備の消防ポンプ自動車を、老朽化に伴い更新するためのもの

【議案第77号】令和元年度むつ市一般会計補正予算

(1億487万7000円の増額補正)

◎歳入の主なもの

プレミアム付商品券事務補助金(国庫補助金)

4187万7000円

プレミアム付商品券事業費補助金(国庫補助金)

4187万7000円

プレミアム付商品券事業費補助金(国庫補助金)

6300万円

◎歳出の主なもの

プレミアム付商品券事務費

4187万7000円

プレミアム付商品券事業費

6300万円

○質疑 今年10月の消費税の引き

上げに伴い低所得者等への救済策として、対象者が限定され

た形で発行されるプレミアム

付商品券だが、その対象者、金額、有効期間、使用できる場所、購入方法はどうか。

▼答弁 対象者は、本年度の住民税非課税の方、平成28年4月2日から令和元年9月30日までに生まれた子供のいる世帯の世帯主で、1万2600人を見込んでいる。金額は、対象者1人につき2万5000円を2万円で購入する。本年10月1日から販売を開始し、来年2月29日まで使用できる。購入方法は、市から交付される購入引換券を販売所に持参して購入する。なお、販売場所、使用可能店舗については、現在調整中で、決定次第、広報むつ等を使用お知らせする。

【報告第3号】平成30年度むつ市一般会計継続費繰越計算書(通次繰越額)

34億1749万2000円

・事業名：重要文化財旧大湊水源地

水道施設修理事業、むつ市総合アリーナ整備事業

【報告第4号】平成30年度むつ市一般会計繰越明許費繰越計算書(繰越額)

5億7667万5600円

・事業名：むつ市民間保育所施設整備

費補助金、橋梁長寿命化修繕事業、横迎町中央2号

線整備事業、大湊地区居住誘導区域整備事業、小

学校ブロック塀対策事業

【報告第5号】平成30年度むつ市下水道

事業特別会計繰越明許費繰越計算書  
(繰越額2947万5000円)

・事業名：社会資本整備総合交付金  
事業

【報告第6号】平成30年度むつ市水道

事業会計継続費繰越計算書(通次  
繰越額1801万1478円)

・事業名：水道管路緊急改善事業、  
水道施設整備事業

【報告第8号】専決処分した事項の報告

及び承認を求めるとして(むつ  
市税条例等の一部を改正する条例)

地方税法等の一部改正に伴い、個  
人住民税における非課税の範囲に係  
る改正等をしたもの

【報告第9号】専決処分した事項の報告

及び承認を求めるとして(むつ  
市国民健康保険条例の一部を改正  
する条例)

地方税法施行令の一部改正に伴  
い、国民健康保険に係る課税限度  
額の引上げ及び低所得者に対する軽  
減措置の拡充をしたもの

【報告第10号】専決処分した事項の報告

及び承認を求めるとして(平成  
30年度むつ市一般会計補正予算)

事業費の確定及び決算見込みによ  
り、関係予算を専決処分したもの  
(7億6918万3000円の減額  
補正)

【報告第11号】専決処分した事項の報告

及び承認を求めるとして

(むつ市半島振興対策実施地域に係る  
固定資産税の特別措置に関する条  
例の一部を改正する条例)

半島振興法第17条の地方税の不均  
一課税に伴う措置が適用される場合  
等を定める省令の一部改正に伴い、  
固定資産税の不均一課税に係る適用  
期限を延長したもの

【報告第12号】専決処分した事項の報告

及び承認を求めるとして(旧  
川内町、旧大畑町及び旧脇野沢村過  
疎地域における固定資産税の特別  
措置に関する条例の一部を改正す  
る条例)

過疎地域自立促進特別措置法第31  
条の地方税の課税免除又は不均一課  
税に伴う措置が適用される場合等を  
定める省令の一部改正に伴い、固定  
資産税の課税免除に係る適用期限を  
延長したもの

【報告第13号】専決処分した事項の報告

及び承認を求めるとして(む  
つ市承認地域経済牽引事業のため  
に設置される施設に係る固定資産  
税の特別措置に関する条例の一部  
を改正する条例)

地域経済牽引事業の促進による地  
域の成長発展の基盤強化に関する法  
律第25条の地方公共団体等を定める  
省令の一部改正に伴い、固定資産税  
の課税免除に係る適用期限を延長し  
たもの

# 全国市議会議長会永年表彰

6月11日に東京国際フォーラム(東京都)で開催された、全国市議会議長会第95回定期総会において、川下八十美議員が議員在職35年以上による特別表彰を、また、斉藤孝昭議員が議員在職15年以上の一般表彰を受賞し、今定例会閉会日6月28日の本会議冒頭に、議長から表彰状の伝達が行なわれました。



川下八十美議員



斉藤孝昭議員

議案説明・質疑

主な議案の内容についての説明と、その議案に対する質疑と答弁についてご紹介します。

# 第 240 回定例会審議結果・賛否一覧表

議案	議案の名称	議決結果	改革改新			公明・政友会			自民クラブ			市誠クラブ			創世むつ			会派に属しない議員									
			斉藤孝昭	富岡幸夫	村中徹也	菊池光弘	岡崎健吾	鎌田ちよ子	白井二郎	中村正志	野呂泰喜	濱田栄子	佐々木肇	浅利竹二郎	石田勝弘	菊池広志	東健而	川下八十美	佐賀英生	大瀧次男	半田義秋	富岡修	原田敏匡	山本留義	佐々木隆徳	工藤祥子	目時睦男
68	むつ市地方活力向上地域に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
69	むつ市介護保険条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
70	財産の取得について（むつ市総合アリーナに設置する移動式バスケットゴールを購入するためのもの）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
71	財産の取得について（むつ市役所川内庁舎配備の除雪ドーザを、老朽化に伴い更新するためのもの）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
72	町の区域の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
73	字の区域の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
74	令和元年度むつ市一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
75	令和元年度むつ市介護保険特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
76	財産の取得について（むつ市消防団むつ消防団第18分団配備の消防ポンプ自動車を老朽化に伴い更新するためのもの）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
77	令和元年度むつ市一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

報告	報告の名称	議決結果	改革改新			公明・政友会			自民クラブ			市誠クラブ			創世むつ			会派に属しない議員									
			斉藤孝昭	富岡幸夫	村中徹也	菊池光弘	岡崎健吾	鎌田ちよ子	白井二郎	中村正志	野呂泰喜	濱田栄子	佐々木肇	浅利竹二郎	石田勝弘	菊池広志	東健而	川下八十美	佐賀英生	大瀧次男	半田義秋	富岡修	原田敏匡	山本留義	佐々木隆徳	工藤祥子	目時睦男
8	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて（むつ市税条例等の一部を改正する条例）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて（むつ市国民健康保険条例の一部を改正する条例）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて（平成30年度むつ市一般会計補正予算）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて（むつ市半島振興対策実施地域に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて（旧川内町、旧大畑町及び旧脇野沢村過疎地域における固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて（むつ市承認地域経済牽引事業のために設置される施設に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

3	平成30年度むつ市一般会計継続費繰越計算書	<p>報告のみ</p> <p>※報告のみの案件は、市当局から報告を受けるもので賛否を明らかにするものではありません。</p>
4	平成30年度むつ市一般会計繰越明許費繰越計算書	
5	平成30年度むつ市下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書	
6	平成30年度むつ市水道事業会計継続費繰越計算書	
7	専決処分した事項の報告について（和解及び損害賠償の額を定めることについて）	
14	専決処分した事項の報告について（和解及び損害賠償の額を定めることについて）	

※議決日は議会最終日の6月28日（ただし、議案第74号、77号および報告第10号は6月21日に議決）  
 ※○は賛成、●は反対、『欠』は欠席または採決の際に不在の者、議長（白井二郎）は採決に加わらない

議案賛否一覧

本定例会で審議された議案の議決結果・賛否の一覧をご紹介します

# ここが聞きたい！

## 一般質問

市民の要望を市政に反映させるための一般質問。

各種の行政課題を取り上げて4日間にわたり14人の議員が活発な論戦を展開しました。



自民クラブ  
浅利竹二郎

問 むつ市財政健全化の取り組み。健全化の取り組みの実績として、人件費削減として、退職者一部不補充に加え、給与削減を行い、私が就任してからの5年間で市長約740万円、副市長、教育長合わせて約660万円、職員が約2億1700万円の削減をしている。また、歳入では、ふるさと納税約5億2300万円、地方創生交付金約2億3100万円、総合アリーナ建設に対する国及び県補助金約21億円を獲得するなど、財源確保を図りつつ、各事業を推し進めている。

答 行政改革の基本方針は、平成30年度に「むつ市行政改革基本方針」を策定し、「効率的な行政運営」等について、取り組むこととしている。また、職員の意識を醸成し、「窓口サービス日本一」を目指すこととし、「窓口改革」として、課長以下全職員を対象とした接遇研修や、新規職員を対象とした総合案内の実地研修等に取り組んでいる。

問 行政改革の取り組み。平成30年度に「むつ市行政改革基本方針」を策定し、「効率的な行政運営」等について、取り組むこととしている。また、職員の意識を醸成し、「窓口サービス日本一」を目指すこととし、「窓口改革」として、課長以下全職員を対象とした接遇研修や、新規職員を対象とした総合案内の実地研修等に取り組んでいる。

※このほか、「むつ市の観光事業・魅力化対策」「むつ下北の生態系被害が懸念される特定外来生物」の3項目14点についての質問がありました。



自民クラブ  
濱田栄子

問 「循環型社会推進について」(1)木材利用促進のため年1回程度、木材製品のコンクール等を開催できないか伺います。

答 木材の利用に関するコンクール等については、県内では、あおもり産木造住宅コンテスト実行委員会が主催する「あおもり産木材住宅コンテスト」が開催されており、昨年度はむつ市内の建築設計事務所が最優秀賞を受賞したと伺っている。全国的な木材製品のコンクールの開催については、地域に適した森林資源の利用促進方法の一つと捉え、調査・研究してまいりたいと考えている。

問 (2)ポイ捨て防止や路上ごみの回収、ごみの分別等をこれまで以上に徹底し、自然環境の保全や循環型社会を推進するべきと思いますか考えを伺います。

答 豊かな自然環境を保全し、次世代へ受け継いでいくために、環境にやさしいまちづくりを推進している。関係機関と連携してポイ捨てや不法投棄防止の啓発と周知に努めている。環境の保護・保全については、ジオパーク活動の3つの柱の一つである。ジオサイクル推進事業等を通じて実現すべきと考えます。



改革改新  
斉藤孝昭

問 会計年度任用職員制度のスケジューリングと人件費及びシステム改修費などの経費の想定は。

答 対象となる職員の把握、各種ごとの勤務条件の確認、条例等例規改正案の検討、人件費等経費の試算、臨時・非常勤職員の現状や業務分析を行い、勤務条件、服務規律、職員評価等についての検討をし、職員組合との協議を経たのち、関係条例の改正案を、次のむつ市議会第241回定例会に議案を上程し、本年12月を目的に募集を開始、年明けに採用試験を実施し、2月中には採用予定者を決定する。人件費は、市長部局で勤務する臨時職員と非常勤職員で試算すると、本年度の予算ベースで、約1.6倍の6億7600万円に増える見込みです。

問 地方再生コンパクトシティ事業の進捗状況と立地適正化計画の効果について。

答 国土交通省における地方再生コンパクトシティモデル都市として、3地区において都市再生整備計画を柱として進めている。

一般質問

一般質問の内容を一部要約して紹介します。



市誠クラブ  
石田勝弘

問 私道整備について市が9割補助する制度は市民は大歓迎だが、今年度の500万円の予算は少なすぎる。来年度以降は予算額を大幅にアップすべきだ。

答 申し込み件数が多い場合、来年度からの対応については、多くの要望に応えられるように検討していく。

問 地域住民のコミュニティの中心となる施設の修繕などの計画を示せ。

答 市が所有する施設の修繕要望は9件あり、コミュニティ拠点の保全を図るため「むつ市公共施設等総合管理計画」に基づき、計画的な整備や管理を行っている。

問 公共施設の修繕は市が直接行うこと以外の方法はないのか。

答 町内会等が修繕する場合、原材料費の2分の1以内の額を補助する制度があり、平成30年度に田野沢地区公民館の外壁等の塗装工事はこれを利用した。

問 選挙の低投票率対策として異動投票所設置の考えはないか。

答 今後の検討課題として取り組む。足腰の弱っている高齢者や障害者対策として投票所を土足であがれる様にしたらどうか。

答 靴カバーを置いたり、ブルーシートを敷いて対応している。



公明・政友会  
菊池光弘

問 早掛沼公園の整備について。

答 公園施設については老朽化等に依りて随時更新してきたところであり、トイレ改修については、平成22年、24年にユニット型トイレの整備により新しく生まれ変わったところであります。

問 遊具について。

答 早掛沼公園は風致公園であることから、自然景観を楽しんでいただくことが重要であると考えております。

問 災害・交通事故から子どもたちの命を守るため、小学生を対象に通学用ヘルメットの無償配布を検討すべき。

答 子どもたちの命を災害や事件・事故から守る観点から、有効な対策のひとつと思われませんが、まずは児童生徒に危険回避等の安全指導を徹底し、事件・事故の未然防止に努めていきたい。

問 「農泊」でインバウンド誘致について。

答 農泊について、むつ市に馴染むかどうかも含め、実現するためには、調査・研究が必要と考えております。

※このほか、「外国人観光客誘致を目標とした多言語サイトを開設してはどうか」についての質問がありました。



改革改新  
富岡幸夫

問 学校給食センターの老朽化が進んでいる施設の課題と、市全体の学校給食施設のあり方及び将来ビジョンについて。

答 児童生徒数の減少、学校統合に伴い抜本的整備計画に入っている。施設の集約については、将来的に1、2カ所の調理場で行えるものと考えている。給食の安全管理や調理・配送コストの効率化、アレルギー対応を含めた給食内容の充実等をふまえ、今後内部で検討を重ね、来年度には予算化しビジョンの策定作業を経て、できるだけ速やかに給食センターの整備をしていく。

問 下北駅前駐車場と駅周辺環境の課題と対策について。

答 駐車場満車時において、タクシープール等に支障をきたしていることを確認している。今後は利便性向上のため標識の設置など改善策の検討を進める。駅周辺の環境美化についても、これまで多くの地域住民の協力を得てきた経緯があるので、引き続き適正な維持管理に努めていく。

※このほか、「JR大湊線の存続維持のため自治体の果たす役割は大きいと思うが、2020年全国夜景サミットのイベント等企画・立案について」「かまふせパノラマラインの春の早期開通について」の質問がありました。



創世むつ  
大瀧次男

問 人口減少対策について。

答 将来にわたって、持続可能な魅力ある地域を形成し、成長するために「しごと」が「ひと」を呼び「ひと」が「しごと」を呼び込み好循環を確立する取り組みを効果的かつ、効率的に展開していくことが必要である。

問 公共施設の命名権募集について。

答 むつ市総合アリーナが来年度オープンをするのを機に、各施設の命名権の準備を進めている。

問 釜臥山スキー場の活用について。

答 12月中旬から3月下旬までスキー場として開設し、4月から登山ルートとして利用している。ゲレンデの土砂流出防止に、ノカンゾウが最も適していることから、平成26年度からノカンゾウの株分けをしながら拡大に努めている。このような活動を継続することで、スキー場に、春にはシラネアオイ、夏から秋にかけてノカンゾウを楽しむ登山客を増加させ、交流人口の拡大に繋げる。夏場のスキー場利活用の気運が高まった後に、リフトの改修について検討する。



市誠クラブ  
東 健而

問 福祉避難所として市と協定を交わした施設についてどの位あるか。

答 介護施設19施設、障害者施設1施設、計20施設を福祉避難所とする協定を締結している。

問 対象弱者の人数の把握についてはどうか。

答 災害時、福祉避難所へ避難する対象者数は、平成31年2月1日現在321名で、受け入れ可能人数は計387名、すべて福祉避難所への避難が可能と考えている。

問 福祉避難所の登録、受け入れ体制、開設、その対応人数についてどのように考えているか。

答 福祉避難所の開設と緊急時の福祉避難所の対応人数については、災害対策本部が必要と判断し、施設に対して開設要請を行うほか、市が定める「福祉避難所開設運営マニュアル」に基づき対応することとしている。

問 災害弱者への自力避難所の周知について。

答 福祉避難所の周知と自力避難所についてはむつ市ホームページにおいて周知を図っているところである。

※このほか、「むつ市過疎地域自立促進計画」について「質問がありました」。



創世むつ  
佐賀英生

問 高齢者及び身体障がい者のために基準を設けてごみの自宅前収集ができないか。

答 住まいの地区によっては、ごみ集積所が自宅から離れた場所であり、高齢者や障がいをお持ちの方が苦勞をしている事は、私も大変憂慮している。今後、困っている市民の皆さんを応援できる地域の実情に応じた収集方法を調査研究していきたい。また、2023年度に予定している新ごみ処理施設稼動に合わせ、収集ルートの見直しを考えている。

問 ゴミステーションを景観的、費用的観点から統一できないか。

答 一定の基準を設けて仕様を統一することは、地域の景観や環境の保全及び建て替え経費の低減に効果が期待できると思うが、町内会の意見を聞きながら研究していきたい。

問 図書通帳の導入により、読書量を高める事ができないか。

答 図書館では、利用者が自身で貸し出し記録を書き込む図書通帳を、読書週間スタンプラリーの際の景品として配布している。図書通帳の配布には相応の経費が必要となることから、事例を参考に、調査・研究していきたい。



公明・政友会  
岡崎健吾

問 厳冬の避難訓練について。

答 厳冬の総合防災訓練は、市民の負担や天候急変による運営面での懸念から慎重な検討が必要だが、有意義でもある。論点を整理して、必要に応じて厳冬期訓練の開催に向けて取り組む。

問 「仮子どもの権利条例」の制定について。

答 今年度「すくすくサポートプランむつ」を改定するので、その中にこのことをしっかり盛り込んで事業を進めていく。その先に、条例の制定というものがあると考える。

問 授業時数の確保について。

答 授業時数の確保については、児童生徒の学力を保障するうえでも重要であることから、夏休みや冬休みなどの長期休業の短縮や、学校行事の見直しをすることで、授業時数の確保に努めたい。

問 児童生徒の通学時の手荷物重量と量の対策について。

答 学校では、家庭学習に使わない教科書等、教室に置いてよい教材等については、学級通信などを通じて、保護者にお伝えしている。



創世むつ  
半田義秋

問 高齢者ドライバーの免許証返納の際の市の支援策を問う。

答 現在は返納者に対し、5000円を一回限り助成していますが免許証を返納された方々が交通難民にならないよう、交通政策の充実に配慮していきたい。

問 幼稚園児・保育園児の散歩道に対する安全対策を問う。

答 市では各保育園から収集した園児の移動経路情報を警察に提供するとともに、県など関係機関と連携し、安全対策に努めてまいりたいと考えております。

問 Uターン・イターンなどで当市に移住する人達に、他自治体では独自に支援策を講じているが、むつ市の支援策は何か。

答 市といたしましては、どのような支援策を講ずることが移住者をより呼び戻せるのか様々な事例を参考にしながら、研究してまいりたいと考えています。

問 一般廃棄物収集運搬業務に携わっている組合員に少なくとも1者につき1件の契約を確保したうえで、複数年の随意契約をすべきではないか。

答 現在の入札制度は、入札の透明性、公平性を図るため、1社1件の担保、複数年の随意契約は考えておりません。



公明・政友会  
鎌田ちよ子

問 「幸齢社会」の実現。認知症施策の推進について。

答 高校JRC部と連携して若い世代へ認知症の理解を広める取り組みや徘徊者捜索支援アプリ「ミマモリオ」を活用した事業を実施している。高齢者見守りネットワーク事業に90事業者と協定を締結。今月28日に24事業者と協定の締結を行う。こうした取り組みを通じて、やさしさでつながるまちづくりを目指したい。

問 健康行政について。

答 検診受診率向上に向け、がん検診など各種検診の予約を、インターネット上で申し込めるシステムを秋に予定している。市民一人ひとりが「自らの健康は自らの手でつくること」を基本とし、効果的な展開をすることで、健康意識の向上と定着を図ってまいります。

問 選挙行政について。

答 若い世代ほど投票率が低下している。若年者の政治的関心の薄さも投票率の低下の要因の一つと考えられる。今後の課題は、全世代に政治的関心向上のために、出前講座開催や投票環境の向上につなげていきたい。



無会派  
工藤祥子

問 今年4月から大湊高校川内校舎が募集停止となった。田名部

答 協野沢から年間36万円、川内から33万円余、城ヶ沢から26万円余（大湊高校、むつ工行きは少し減）。大変という保護者の声がある。県内でも支援している町村がある。当市も支援すべき。

問 今別町は定期券の3分の1を助成。六ヶ所村は地元高校へのバス代を3分の1、村外への通

答 半額助成、保護者の送迎、むつ市以外への下宿代に月5000円補助している。どう考えるか。繰り返すが、県の責務である。

問 就学援助制度は全国的に6人に1人の生徒が利用。「経済的に

答 表現が申請の妨げになっていないという指摘はない。入学準備金の増額は来年度入学から実施する。

※このほか、「広報むつの中に、むつ市の歴史・文化紹介のページを設けて欲しい」という質問がありました。



無会派  
原田敏匡

問 第二田名部小学校なかよし会の夏場の室内環境について、暑

答 夏場における余裕教室の臨時的な利用について、教育委員会、学校と協議を進めている。

問 教員の多忙化問題が指摘される中、徴収金業務を見直し、教

答 学校の業務を軽減できないか。

問 昨今の事件を受け、世間のひきこもりを見る目が非常に厳しくなっている状況で、更に悩みを抱えてしまった方々の相談しやすい環境作りは急務であると考えるが、今後の取り組みは。

答 ひきこもり支援の人材育成として、サポーター養成講座を昨年度に引き続き行うとともに、相談窓口の設置や医療関係機関とのネットワークの構築を目的とした、ひきこもり対策推進事業をむつ市社会福祉協議会に委託し実施する。

※このほか、「SDGsについて」の質問がありました。

## むつ市議会ラジオ放送について

【エフエムアジュール ホームページ】



本会議や特別委員会は、地域のコミュニティ放送であるエフエムアジュールで生放送されています。

議会傍聴の時間がないときなどには、お持ちのFMラジオやスマートフォンなどで、周波数を76.2メガヘルツに合わせるとすぐに聴くことができます。

また、インターネット配信もされていますので、お持ちのパソコンやスマートフォンからエフエムアジュールのトップページ【インターネットサイマル放送】から聴くことができます。



## 【総務教育常任委員会】

○6月21日付託議案審査

付託された議案4件、報告4件について関係部長等の出席を求め審査を行ない、全会一致で原案のとおり可決・承認すべきものと決定した。  
(委員会審査における主なる質疑)

・議案第68号 むつ市地方活力向上地域に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例（地域再生法等の一部改正に伴い、東京都の特別区から本社機能を移転し、青森県の認定を受けた整備計画に従って、新設または増設された特定業務施設の用に供する固定資産の課税免除等をするためのもの）

問 具体的に適用された例はあるか。

答 適用されたのは青森県内で1件だけであり、むつ市で適用された例はない。

・議案第76号 財産の取得について（むつ市消防団むつ消防団第18分団配備の消防ポンプ自動車を老朽化に伴い更新するためのもの）

問 消防ポンプ自動車の仕様について、車種が限定されるようなことはないか。



答

消防機関と協議の上決定している。大まかに車両本体と装備品に分けられるが、装備品については消防法上の基準にのっとり、車両については、四輪駆動であることなどを設定しているが、これらは多くのメーカーにあるような仕様となっており、車種が限定されるようなことはないと考えている。

## 【産業建設常任委員会】

○6月21日付託議案審査

付託された議案1件について関係部長等の出席を求め審査を行ない、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。  
(委員会審査における主なる質疑)

・議案第71号 財産の取得について（むつ市役所川内庁舎に配備している除雪ドーザについて、老朽化が著しいことから更新するためのもの）

問 現在使用している重機の使用年数と処分の方、今回取得する除雪ドーザの使用方法について。

答 現在の除雪ドーザは25年経過しており、今回購入する際の下取りとして60万円で処分し、取得する除雪ドーザは川内地区の業者へ貸付委託する。

問 除雪ドーザの仕様について。

答 基本はドーザとして使用するが、排雪時にはアタッチメントでバケットに取り替える仕様となる。

## 【民生福祉常任委員会】

○6月21日付託議案審査

付託された議案3件、報告1件について関係部長等の出席を求め審査を行ない、全会一致で原案のとおり可決・承認すべきものと決定した。  
(委員会審査における主なる質疑)

・議案第69号 むつ市介護保険条例の一部を改正する条例（介護保険法施行令等の一部改正に伴い、低所得の第1号被保険者の介護保険料について、軽減措置の強化を行なうためのもの）

問 本議案の3年間の軽減措置期間が終わればどうなるのか。

答 介護保険料の算定は3年に1回であることから、改めて3年間分を軽減する。

・議案第75号 令和元年度むつ市介護保険特別会計補正予算(318万8000円の増額補正)

問 財源となる繰入金について。

答 財源については国が2分の1、県が4分の1、市が4分の1となり、一般会計からの繰入金を介護保険特別会計の歳入としている。

(所管事務調査)

(1) ひきこもりの現況と対策について

# 総務教育常任委員会行政視察 令和元年5月14日～17日

愛媛県大洲市  
防災対策(自主防災組織の活動)について

大洲市  
自主防災  
組織は33  
組織(自  
治会単位)  
で、全世  
帯加入  
組織率  
100%



大洲市での視察の様子

となっており、平時の活動については、地震等災害に関する講話・講習、救急救命等の実技講習、消火活動や炊き出し等の訓練、備蓄物資・資機材等の点検、防災士等の講習会への参加等を実施している。

なお、平成29年度は、全組織において、講習・実技・訓練等の活動を実施した。(159件、延べ3842人が参加)

むつ市での自主防災組織の世帯力率率が約23%であり、全国平均の約83%に比べて圧倒的に低い数字だが、早い時期に市民や町内会に周知して、組織率を上げる必要があると感じた。

愛媛県四国中央市  
児童見守りシステムについて

現在運用しているユビキタスタウン構想推進事業の前身となる総務省モデル事業「地域児童見守りシステム」は平成19年に地域で児童を見守るためにICTを活用したシステムモデルの構築、運用及び評価を総務省より委託を受ける形で行なった。また、その成果を地域モデルとして全国展開をはかることを目的とした事業であり、全国で16の団体が選定され、四国中央市は四国で実施した唯一の団体だった。



四国中央市での視察の様子

## 《登下校管理システム》

市内小学生低学年560人を対象に実施。登下校時に児童が所持するICカードを学校に設置されたカードリーダーで読み込み、登録している保護者の携帯電話等にメールで通知する。

《状況把握システム、危険通知システムの運用》

小学校高学年の希望者を対象にGPS付き携帯電話を使用した。

※このほか、『新宮小中わくわくプラン』についての行政視察を行なった。

## 産業建設常任委員会行政視察 令和元年5月21日～24日

### 高知県宿毛市

#### 宿毛湾の養殖業(直七マダイ)について

平成13年1月1日に宿毛市と大月町の16漁協で新設合併した。漁業者の所得の向上と漁業を続けていくために、市場を統合し1カ所にする事により、魚種・水揚げ量を多くし取り引きをしやすくした。また、公設の市場ではなく、漁協で設置した市場で、売り上げを伸ばすため、他の地域からも新規の仲買人を増やして任命している。宿毛湾の海水は、他と比べて海水温が高い特徴をもって



宿毛漁協での視察の様子

いる事から、この特徴を生かし真鯛の養殖を行なっている。海水温が高いため真鯛の成長が早く、出荷するまでのエサ代が安くすむ利点がある。また、エサに宿毛市特産の柑橘「直七」の乾燥粉末を添加した「宿毛ブランド魚」を開発。また、今まで安価な値段で取り引きされていた未利用魚を加工して販売するため、加工場をつくり学校給食や病院食などに利用することで、漁業者の所得向上へつなげている。加工場では、養殖ブリの「ファイル加工」を行なっており、付加価値化をしながら日々進化し続けている。

高知県室戸市  
廃校を利用した観光振興について

平成13年に椎名小学校が人口減少により休校、平成18年に三高小学校へ統合され廃校となった。また、同時期の平成13年に室戸市の国道55号線にウミガメの産卵に配慮した橋が建設されたが、これにNPO法人日本ウミガメ協議会が協力したことがきっかけで、年間100匹から200匹のウミガメが定置網にかかっていることがわかり、協議会が室戸市に通うこととなった。

平成15年から調査、研究がなされその後、様々な珍しい標本が多く集まり、展示保管場所の確保が課題と



むろと廃校水族館での視察の様子

なった。その後、地元住民との話し合いで、廃校となった椎名小学校を利用して平成30年4月26日「むろと廃校水族館」がオープンした。

むろと廃校水族館は、いつも同じ所に同じ魚がいるのではなく、工夫を凝らして、また見に来たいと思わせるような努力が、見ている側にも伝わる感じを受ける。地元の漁師から譲り受けるなどした1000匹以上の室戸沖の生き物ばかり飼育、展示しているのが特徴である。プールの中にウミガメやシユモクザメが悠々と泳いでいるのがとても神秘的であった。

### 民生福祉常任委員会行政視察 令和元年5月13日～16日

島根県出雲市

出雲介護職魅力化プロジェクトについて  
老老介護生活支援サービスについて

出雲市も全国同様、介護事業所が必要とする人数を確保出来ない

実態にある。そこで市は、これからの介護人材の確保・定着について事業所や医療機関・学校関係者で構成する「プロジェクト会議」を開き、アンケート調査等を実施しながら課題と対応策の検討を行ない、取り組み方針を定めている。

「業界全体のイメージアップに向けて」積極的な情報発信、「人材の



出雲市での視察の様子

確保に向けて「関係機関が連携する仕組みづくり」、「人材の定着に向けて」子育て社員の環境づくりをする等推進し、それぞれの事業費を計上している。

「老老介護生活支援サービス」事業は、サービス利用券を給付し、それを利用することにより、住み慣れた自宅での生活を継続してもらうこととしている。サービス内容は介護保険対象外のサービスも可能で、屋内の修繕、除草等利用範囲が広く、1カ月分3000円を給付している。



防府市での視察の様子

山口県防府市  
防府市環境基本計画について

防府市は県内で有数の産業都市であるが、かつて高度経済成長期に、公害問題が発生し公害対策に取り組んできた歴史を持つ市です。

昭和50年に施行された「環境保全条例」が幾度となく改定され、現在の「環境基本計画」制定となつている。この計画に基づき、各施策が確実に邁進されるように、数値目標、満足度指標、進捗管理指標を設定している。計画の進捗状況は毎年公表し、必要な助言・提言を求め、事業に反映させる等透明性の確保に努め、市・市民・事業者が協働しながらそれぞれの役割を果たすという仕組みづくりを行なっている。

# 議会を傍聴してみませんか



本会議は誰でも傍聴することができます。市民の代表である市議会議員と市当局との議論のやり取りを、直接見たり聞いたりすることができますので、傍聴は議会活動や市政方針を知るうえで最も身近な方法といえます。

傍聴される方は、本会議当日に議会事務局にて傍聴券の交付を受けてください。

交付を受けた方は、傍聴券に記載された日に限り傍聴することができます。

傍聴を終え、退場する際には傍聴券を返却してください。

傍聴席は30席あり先着順です。

## 第241回定例会の予定

8月27日(火) 本会議(開会)・常任委員会

9月4日(水) 本会議(一般質問)

5日(木) 本会議(一般質問)

6日(金) 本会議(一般質問)

9日(月) 本会議(一般質問)

10日(火) 本会議(議案質疑ほか)

決算審査特別委員会

常任委員会

11日(水) 常任委員会

決算審査特別委員会

12日(木) 決算審査特別委員会

13日(金) 決算審査特別委員会

19日(木) 本会議(閉会)

※ 8/22の議会運営委員会にて決定いたします。

## 議会のうごき

4月

4日 東北市議会議長会定期総会

10日 広報広聴委員会

12日 会派代表者会議

下北半島振興促進連絡協議会総会

下北総合開発期成同盟会総会

24日 広報広聴委員会

25日 議会だより発行

5月

13~16日 民生福祉常任委員会行政視察

14~17日 総務教育常任委員会行政視察

21~24日 産業建設常任委員会行政視察

21日 防衛省全国情報施設協議会役員会

29日 広報広聴委員会

青森県市議会議長会第1回定期総会

31日 会派代表者会議

6月

3日 議会運営委員会

6日 議会運営委員会

第240回定例会開会

7日 議会運営委員会

17日 議会運営委員会

本会議(一般質問)

会派代表者会議

18日 本会議(一般質問)

19日 本会議(一般質問)

20日 本会議(一般質問)

21日 本会議(議案質疑)

常任委員会

26日 広報広聴委員会

28日 議会運営委員会

第240回定例会閉会

会派代表者会議

むつ市議会はホームページやフェイスブックで積極的に情報発信を行うことでより身近で開かれた議会を目指します

【ホームページ】



<http://www.city.mutsu.lg.jp/index.cfm/40.html>

【facebook】



<https://www.facebook.com/mutsushigikai/>



いいね!

## 編集後記

一年で一番、暑い時期です。皆さん、おわりはありませぬでしょうか。昨年4月に「むつ市議会だより」が発行され、今回で第10号を迎えます。むつ市議会が市民の皆さんに少しでも身近なものにとスタートしましたが、いかがでしょうか。「独特なルールをもつ議会」という動機もたまたま知らず今日までかばならない内容が沢山あり、字が細かくなり、読むのも大変な所もあるかと思ひます。ご意見をお寄せ下さい。私が議員になって特に思うのは、国、各地方の市町村議会、そして私達という生活の町村議会、そして私達という事です。すぐ影響があるもの、ジワジワと影響が出るものと様々ありますが、国議会の動向に目を配れば一つ一つの市議会を大切にしなければと改めて考えます。田名部祭り等、ネブタ祭り、お盆、旧交を温める行事が控えています。旧交を温めるように、短い夏が楽しい季節になります。

工藤祥子